

福島大学

行政政策学類

キャリア教養学科

Q. 編入を考えたのは、いつからでしたか？また、その理由を教えてください。

短期大学を受験する前から考えていました。高校で5教科7科目をこなせなかつたため、科目の少ない編入試験で4年制大学に入学したいと思いました。短大での学びや多くの活動に参加していく中で、編入して学び続けたいという気持ちが強くなりました。

Q. 編入までのプロセスを具体的に教えてください。

1年生7月：志望大学のオープンキャンパスに参加する

1年生9月、1月、3月、2年生5月：TOEICの受験

2年生6月：志願理由書を書き始める

2年生8月：志願理由書添削、出願

2年生9月：過去問添削、面接練習

Q. 編入のための学習指導は、いつから、どのような形で行われましたか。

1年生の5月に英語の先生と学習について面談し、少しずつ英語の学習に取り組んでいました。1年生の後期から「キャリア教養特講Ⅰ」の授業が始まり「編入とは何か」「小論文の書き方」「過去問や社会問題」について解説していただきました。2年の夏休みには、先生方に英語と小論文の過去問の添削や、面接練習をお願いしました。

Q. 編入対策で努力したことは何ですか。具体的にどのような勉強をいつからしましたか。

英語の勉強です。短大入学前の春休みから基本的な単語や文法の復習をしました。電車での通学時間は単語帳を読んでいました。また、英語の学習の動機づけのために、TOEICを4回受験しました。初回のスコアはひどいものでしたが「TOEIC演習」を履修し対策を続けた結果、2年生の5月には初回よりも255点高いスコアを取ることができました。その後は「やっておきたい英文長文500」や過去問で記述の対策を行っていました。例年と異なり択一問題の出題でしたが、戸惑わずに解けたと思います。

Q. 編入対策において、先生のアドバイスで役に立ったことを教えてください。

「英語力をつけた上で特別研究に力を入れる」ということです。入試が近づくにつれて志願理由書の作成や面接練習などのタスクが増えて焦りが出ますが、英語の勉強や特別研究をコツコツと進めておけば、余裕をもって対策を行うことができると思います。

Q. 編入対策において、聖母の学びで力になったことはどんなことですか。

「キャリア教養特講」の授業です。多くの社会問題に触れることができて、小論文の対策だけでなく、特別研究のテーマを決めるきっかけにもなりました。

① 大学（短大）受験の時の気持ち・②短大入学後（学生生活）の気持ち・③編入試験前の気持ち・④合格後の気持ちを 教えてください。

- ① 2年間で自分と向き合い多くの経験をしよう。
- ② 編入してさらに多くの学びと経験を得たい。編入対策を頑張ろう。
- ③ やるだけやったから今までの成果を発揮しに行こう。
- ④ 受験に合格するって嬉しい。これからも頑張ろう。

Q. これから桜の聖母短大に入学する、または桜の聖母短大から編入を目指す後輩に伝えたいことは何ですか。

編入は少ない科目で受験できますが、一般入試と異なり受験する人が少なく、入試前の夏休みも、寂しく真面目に対策を続ける必要があります。聖母では、先生方のサポートが手厚く、夢ややりたいことの実現に近づけると思います。応援しています！